

事務事業評価表(既存事業)

コード 8-4-7	事務事業名 田無町二丁目アスタ西側歩道防護柵設置工事	所管部課 都市整備部道路管理課
--------------	-------------------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 交通安全を推進し、安心して暮らせるまちづくりをすすめる。 (歩行者の無謀な車道内横断抑止を目的に防護柵を設置する。)	総合計画上の位置づけ (政策)安全で快適に暮らすまちづくり (施策)防犯・交通安全の推進(安2-2) (主要施策)交通安全施設の整備
	実施内容、実施方法 防護柵設置工L=90m	根拠法令等
	事業開始時期 平成16年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()

評価指標の設定	活動指標名 工事件数	活動指標の考え方(定義) 工事の実施件数
	成果指標名 交通事故発生件数	成果指標の考え方(定義) 防護柵設置箇所での交通事故件数

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
事務事業データ	事業費(A)		0	0	5,880	0	
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源					5,880	
	所要人員(B)	人			0.08		
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	0	634	0	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	0	0	6,514	0	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(工事件数)	千円	0	0	6,514	0	
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	件			1	
		実績値	件			1	
	活動指標	目標値					
実績値							
成果指標	目標値	件			0		
	実績値	件			0		
成果指標	目標値						
	実績値						

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	
	国・都・他市・民間等 における類似事業	
	運営上の制約条件・ 外部要因等	

コード 8-4-7	事務事業名 田無町二丁目アスタ西側歩道防護柵設置工事	所管部課 都市整備部道路管理課
--------------	-------------------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input checked="" type="checkbox"/> 極めて良好 <input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	交通ルールを無視した歩行者に対し、車道内の横断抑止を図り、交通事故を未然に防止した。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止	平成16年度に工事は完了した。 他の地域についても、必要に応じて各現場状況に適した交通安全施設整備を検討する。

17年度における改善点	
-------------	--

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

- 実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。
 - 拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
 - 継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
 - 改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
 - 抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
 - 廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。